

2020年11月27日

出光興産株式会社

**FIM[※]ロードレース世界選手権 Moto2 クラス「IDEMITSU Honda Team Asia」と
Moto3 クラス「Honda Team Asia」2021年シーズンのライダーが決定**

出光興産株式会社(本社：東京都千代田区、社長：木藤 俊一、以下当社)が協賛し、二輪のロードレース世界選手権に参戦している「IDEMITSU Honda Team Asia」(Moto2クラス)と「Honda Team Asia」(Moto3クラス)の来季2021年の参戦ライダーが決定しましたのでお知らせします。

※Fédération Internationale de Motocyclisme(国際モーターサイクリズム連盟)の略称



左から：Moto2 ソムキャット・チャントラ選手、青山博一監督、小椋藍選手

当社は、本田技研工業株式会社のモータースポーツの趣旨「アジアから世界へ」に賛同し、協賛を通じて世界に挑戦するライダーを応援しています。

「IDEMITSU Honda Team Asia」は二輪ロードレース最高峰MotoGPクラスへの登竜門といわれるMoto2クラスに参戦しています。世界で活躍するアジア人ライダーを発掘・育成する取り組みの一環として本田技研工業株式会社が2013年に発足したチームで、当社がメインスポンサーを務めます。MotoGPクラスで活躍する中上貴晶選手もMotoGP昇格前に所属しており、現在中上選手が所属する「LCR Honda IDEMITSU」も当社がメインスポンサーを務めています。

「Honda Team Asia」はMoto3クラスに参戦するチームです。当社も協賛を通じて応援しており、2018年からはMoto2、Moto3クラスの両チーム監督に青山博一氏を迎え、アジアの若手ライダーが世界に挑戦しています。

当社は今後も世界に挑戦するアジア人ライダーを応援するとともに、モータースポーツ文化の発展に貢献してまいります。

1. 参戦ライダー

(1) Moto2 IDEMITSU Honda Team Asia

ソムキアット・チャントラ

小椋 藍(オグラ アイ)

(2) Moto3 Honda Team Asia

國井 勇輝(クニイ ユウキ)

アンディ・ファリド・イズディハール

2. コメント

(1)青山博一(アオヤマ・ヒロシ)チーム監督(Moto2、Moto3)



まずは、出光興産株式会社様とスポンサーの皆様にご感謝したいと思います。また2021年シーズンを2つの世界選手権のカテゴリーで続けられることを嬉しく思います。

Moto2クラスでは、ソムキアット・チャントラ選手と小椋 藍選手が参戦します。チャントラ選手ですが、彼にはスピードがあり、競争力もあり、Moto2のような大きなバイクを乗りこなす能力もあることから、継続参戦することにより彼がどのように成長していくかを見て行きたいと思います。小椋選手は、Moto3から昇格して、彼にとっては新しい挑戦となります。Moto2はレベルも高く、彼にとって大きなチャレンジとな

りますが、彼がMoto2に参戦に値する十分なスピードと才能を持っていると信じています。

Moto3クラスでは、國井 勇輝選手とアンディ・ファリド・イズディハール選手が参戦します。國井選手はスピードと強い精神を持っているので、2シーズン目となる来年度は、競争力を持ってチャンピオンシップ獲得に向けて戦うチャンスがあると思います。アンディ選手についてですが、Moto3クラスは彼にとって全く新しいカテゴリーではありません。彼は過去に小さなバイクに乗って育ち、例えばアジアタレントカップやスペイン選手権などで非常に速く走っていました。私達は、彼がMoto3でレースをしても競争力を持って戦える素晴らしいスキルを持っていると信じています。

彼らは皆、若く、才能のあるライダー達です。2021年シーズン、彼らがどのようにパフォーマンスを発揮し、バイクを操って行くのがとても楽しみです。

(2)Moto2 IDEMITSU Honda Team Asia 選手コメント

・ソムキアット・チャントラ選手



このチームで3年目を迎えられることを嬉しく思います。出光興産株式会社様、APホンダ、そしてライダーとしてこの素晴らしいチームでの成長をサポートしてくれるすべての人に感謝します。今シーズンのMoto2クラスは非常にレベルが高く、毎レースとても競争が激しいです。私も去年と比べ改善出来ていますが、全てのライダー達も同様に一歩、レベルアップしてきています。来年に向けてはさらに上を目指して頑張っていくことをファンの皆さんに約束します。応援よろしくお願ひします。

・小椋 藍(オグラ アイ)選手



まずはご支援頂いている全てのスポンサー様とチームに感謝します。2019年のMoto3参戦以来、チームは常に良いパッケージを用意してくれ、ずっと一緒に一生懸命働いて来ました。世界選手権Moto3にステップアップした際にMoto3で2年間、しっかりと過ごし次のステップに行きたいと思っていました。今、その目標通りになりとても嬉しく思います。来年は新しいライバル、新しいバイクとなり難しい挑戦となりますが、私は今と同じように一歩一歩、前に進んでいきます。

～ お問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

https://www.idss.co.jp/contact/advertising_flow/index.html